

結核は、今でも世界や日本で 発生している病気です



世界では人口のおよそ 4 人に 1 人が結核菌に感染しているとされ、毎年多くの人が結核を発病しています。

日本でも年間 1 万人以上が結核を発症しており、重要な感染症の一つです。福岡市では 2025 年に 145 人が結核を発症し、そのうち約 4 人に 1 人が外国人でした。

結核は早期発見・早期治療により治すことができる病気です。正しい知識を身につけ、自分自身と周りの人の健康を守りましょう。

結核の主な症状



結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起きる病気です。

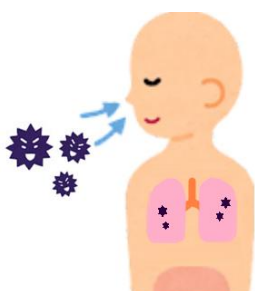
最初は風邪に似た症状で始まります。

「せき」「たん」「微熱」「体のだるさ」のどれかが
2 週間以上続くときには、早めに病院に行きましょう。

結核の感染のしくみ

結核を発病した人の咳やくしゃみに含まれる結核菌を吸い込み、菌が肺の奥に入ると感染します。

感染しても、体の免疫の力が強ければ、結核菌を体の中に閉じ込めるため、発病しません。



しかし、免疫力が低下すると、閉じ込められていた結核菌が活動を始め、結核を発病することがあります。

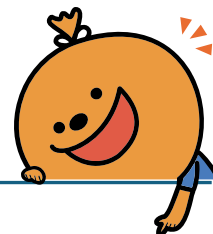
少しずつ病気が進行すると、咳やくしゃみに菌が混じって、人にうつす状態になります。
感染だけの状態や、発病の初期の場合には、人にうつすことはありません。

結核は治せる？

結核を発病しても、医師の指示通り毎日薬を飲めば治ります。治療期間は一般的に6か月から9か月間です。

結核の治療にかかる費用は、公費による助成が受けることができます。

日本では、結核菌に感染していても発病はしていない人に対して、将来の発病を防ぐための予防的な内服治療をすすめています。



結核の予防と早期発見

症状があるときは、早めに病院に行きましょう。

健康診断で異常があると言われたら、すぐに病院を受診しましょう。

受診が遅れると、周りの人に感染させる可能性があります。

症状はなくても、年1回は胸部X線検査を受けましょう。

健康的な生活が免疫力を高め、結核の予防につながります。

「適度な運動」「十分な睡眠」「バランスの良い食事」を心がけましょう。

